

平成30年 第1回南アルプス市総合教育会議 議事録

1. 日 時 平成30年8月23日(木)
開会 午後1時30分 閉会 午後3時20分

2. 場 所 白根生涯学習センター 大研修室

3. 議 題 別紙議事日程のとおり

4. 出席員

市 長	金 丸 一 元
教育長	小 松 重 仁
教育長職務代理者	佐 藤 良 子
委 員	津 久 井 豊 徳
委 員	小 野 ゆ り
委 員	今 村 大 秀

5. 説明員

教育総務課長	清 水 学
教育総務課主幹	飯 野 一 幸
学校教育課長	名 取 広 行
学校教育課指導監	名 取 和 仁

6. 事務局

教育部長	小 野 義 邦
教育総務課長	清 水 学
教育総務課主幹	飯 野 一 幸
教育総務課副主幹	村 松 陽 子
教育総務課主査	藤 卷 大 介

7. 傍聴人 6名

事務局	<p>これから平成30年度第1回総合教育会議を始めさせていただきます。</p> <p>開会にあたり挨拶を交わしたいと思います。それでは次第に基づき進行してまいりますのでどうぞ宜しくお願いします。</p>
市長	<p>皆さん、こんにちは。本日はお忙しいところ、南アルプス市総合教育会議にご出席いただき、ありがとうございます。また、教育委員の皆様には、平素から本市の教育行政にご尽力いただき感謝申し上げます。</p> <p>さて、昨年度の総合教育会議では、「子どもの貧困について」ご協議いただくとともに、「学校教育におけるICTの活用」、「小中一貫教育と地域との協働」など多岐にわたるテーマを取り上げていただきました。</p> <p>本日は平成30年度、第1回目の総合教育会議となりますが、「南アルプス市教職員の多忙化改善の現状」と「第2次南アルプス市教育大綱の策定」の2件について、ご協議いただきたいと思えます。</p> <p>教員の多忙化につきましては、本市でも平成29年度に、校長代表、教頭代表、事務職員代表と教育委員会とで多忙化改善対策委員会を組織し、改善に向けた取り組みをしていただいているところであります。</p> <p>また、市教育大綱につきましては、平成27年度に策定いたしました。その期間が、平成31年3月末となっているため、次期教育大綱を策定していく必要があります。策定にあたっては、教育総合会議で協議・調整を行って参りたいと考えています。</p> <p>本日は「教員の多忙化改善の現状」と「第2次教育大綱の策定」について担当課からご説明し、その後、委員の皆様には、様々なご意見をお願いしたいと思います。</p> <p>簡単ではございますが、開会のあいさつとさせていただきます。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。会議の進行につきましては、市総合教育会議運営要綱第5条3項に、市長が行うものと規定されておりますので、ご了承ください。</p> <p>それでは、これから協議事項に移ります。市長は、これより進行をお願いいたします。</p>
市長	<p>それでは協議事項に移ります。本日の協議事項は2件であります。「南アルプス市教職員の多忙化改善の現状」について学校教育課から説明をお願いします。</p>

事務局	プロジェクターの準備をいたしますので、市長、教育長は席の移動をお願いします。
学校教育課長 学校教育課指導監	資料に基づいて説明
市長	担当者からの説明が終わりました。どなたかご意見ありませんか。佐藤委員いかがでしょうか。
佐藤委員	<p>学校教育課から多忙化に関する説明がありましたが、昨年度から立ち上げた教員の多忙化改善対策委員会の中でも報告がありました。まず出来ることは、事務的なこと、人的な配置だと思っています。私も学校に勤めていた関係で話す機会がありますが、今、県や各市町村でもそれぞれ超過勤務の実態を調べているようです。知人から聞きましたが、朝はどの先生でも七時半には学校へ来ているようです。考えてみれば、私もそうでした。</p> <p>また放課後も子ども達が下校して授業の準備や打合せなどあり一般的に月に50～60時間は超過していると聞きました。国、一般的な過労死ラインは60時間です。若い先生や、教頭先生のような管理職は月に100時間～120時間とも聞きました。そのような場合はどうするのか聞きましたが、校長、教頭先生から個別に指導して緩和しているということでした。現場でも超過勤務に対しての対応も工夫してやっていることをききありがたいと思っています。</p> <p>また世間でも電通の事件から始まり、働き方改革としてやっと目を向けられるようになり良かったと思います。勤務超過の実態は各学校に任せているのでしょうか。教育委員会が把握している範囲を教えてください。</p>
学校教育課長	時間外勤務(学校にいる時間)の実態についても教育委員会のパソコンで確認できるようになっています。管理職の先生は他の学校の先生の実態も含めて時間数を把握していただけるようなシステムになっています。6月分だけですが100時間を越えている先生もおります。あくまで学校にいる時間です。年齢層では若い先生、中間層の先生、管理職では教頭先生が多くなっています。男女は関係ないようです。最近は精神的ストレスを感じるが多いと感じています。学校教育を進めていく中で各学校がチームとして効率化を図り進めてほしいと思います。

佐藤委員	<p>調査することがまた負担にならぬよう改善の方向へ繋がるように指導していただきたいと思います。子どものためにと頑張る先生が疲弊するのは子ども達も不幸に思えてしまいます。スリム化できることは教育委員会でも積極的に取り組み進めていただきたいと思います。</p> <p>もう1つ、人的配置の充実ですが、ALTが導入され増員されたことも必要なことですが、急に休まれた先生に対しての対応もお願いしたいと思いました。</p>
津久井委員	<p>遅くに学校近くを通りかかると以前より照明がついているようなことが無くなったような気がします。このような決まり、ガイドラインを設けた成果がでていていると感じています。教員の多忙化を考えると、個人によっての受け止め方も違うと思います。もっと多忙化をどう感じているか、生の声を聞きいてみたいです。そして個人として出来ること、社会、学校として出来ることを整理し、マネジメント力をつけることも大事なかなと感じました。</p>
学校教育課長	<p>言われたとおりだと思います。市においては業績評価、教員でも人事評価があります。管理層と教員層、年間3～4回面談があります。やはり教員として何に重点をおき頑張っていくか、どんなことに負担を感じているのか管理職としっかり話をする中でサポートできる状況をつくるのが1つの取り組みとしてあるのではないかと考えております。またご指導いただきながらやっていきたいと思っております。</p>
津久井委員	<p>補足ですが、人事評価は公的に影響するものだと思いますので、ざっくりばらんに言える、話せる配慮をしてほしいと思います。</p>
小野委員	<p>保護者としても先生方には子どもに対して細かく接していただいているので思うのは時間外勤務の中での自宅での時間が果たしてプライベートの時間として成立しているのかどうか、が気になります。保護者と連絡を取り合おうとすれば夜自宅からかけることもあるだろうし、逆に保護者の方は電話のほうが話しやすいということで自分の気持ちのままに遅い時間にかけるということもよく耳にします。そうすると勤務事態は発生せず、反映もされません。先生方の本当のプライベートを確保していくのは、むずかしいと思います。今回のように完全な閉庁日を設けた方が実行力もあるように思いました。実際、閉庁日を行っての感想も知りたいです。</p> <p>もうひとつ、学校の業務の中での効率化ですが、少し耳に入ったことですが給食費、学年費が学校によっては引落しをしていたり、</p>

	<p>学校が回収していたりと聞くので全体として効率化できるのであればやっていただきたいなと思いました。</p>
<p>学校教育課指導監</p>	<p>集金ですが学校によって違います。その1つは回収率を高めたいという思いからだと思えます。しかし多忙化改善ということにはならないので行っている事例を参考に考えたいと思えます。</p>
<p>市長</p>	<p>確認ですが市内の学校によっても違うのでしょうか。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>集金に関しては確認不足で申し訳ありません。学校閉庁日のときは教育委員会が対応しましたが、集金に関してもですが、学校をサポートすることはどこかが肩代わりしなければなりません。バランスを考えながら計画をたて進めていかなければと思っています。学校閉庁日の取り組みで教員の計画的な年休が進んでいかないことに関わって学校閉庁を設けた方が有給取得率を高めることに繋がるということで学校との兼ね合いの中、検討委員会で具体化し行いました。教員だけを主軸に考えると教育委員会が忙しくなるように思います。今後業務の効率化については、学校現場と教育委員会側が連絡を取り合いながら連携を図り進めていきたいと考えています。</p>
<p>市長</p>	<p>給食費の集金については、全て給食センターが行っているものでしょうか。</p>
<p>学校教育課指導監</p>	<p>給食費については市のセンターで行っていますが、そのほかに学年費というものは各学校で違います。他の市町村に比べれば進んでいるように思います。</p>
<p>小野委員</p>	<p>先生方は有給を消化できていない状況なののでしょうか。また持ち越しなどはできないのでしょうか。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>教員は40日間有給があり20日は繰越できますが現状、有給消化するには互いに気を使ってしまう現状があります。</p>
<p>今村委員</p>	<p>多忙化の現状に対して本市はできる限りのことをしているという印象を持ちました。各学校、認識の違い、温度差はないか。多忙化対策の担当の先生はいるのでしょうか。実際、閉庁日やきずなの日が実施されているか。やはり現場の声を拾う中で、教育委員会ができる多忙化対策と個々の先生方の認識、対応のできる対策があるかと思えます。各学校での取り組む姿勢によって違ってくると思う。学校は一人ではなくチームとしてサポートできる体制をつくることを指導してほしいと思えます。</p>

学校教育課指導監	ありがとうございます。参考にさせていただきます。学校の組織ですが基本は校長先生を筆頭に管理職が教員にチームとして取り組むよう具体的に指導しています。きずなを実施しているかどうかですが、県からの調査も学期ごとにあります。計画段階での指導、そして実施状況を報告しています。
今村委員	市内の学校の対応がわかりました。ありがとうございます。
市長	教育長、いかがでしょうか。
教育長	国が言う働き方改革、職員の多忙化改善にしても職場の風土を変えていかないと改善には至らないように思います。
市長	次の議協議事項に移ります。教育総務課から説明をお願いします。
教育総務課長	資料に基づいて説明
政策庶務担当	資料に基づいて説明
市長	担当者からの説明が終わりました。何かご質問、意見ありましたらお願いします。
佐藤委員	社会の変化を見据えた見直しとありますが既にあるのでしょうか。
政策庶務担当	これからの策定となりますので今の時点ではありません。
教育総務課長	社会を見据えた見直しという言い回しですが、前回の大綱には第2期の国の振興計画を参酌しながら策定しています。今回は国の3期が示されたので内容を精査して本市の教育に合うように織り込んでいきたいと考えております。
津久井委員	教育大綱は大きな方針、理念なのでインパクトある言葉がいいと思う。国の第3期教育振興基本計画の方針の中で夢と志を持ちという言葉は個人的にすごく心に残りました。
教育総務課長	貴重なご意見ありがとうございます。今回の大綱の見直しに際しまして、今までの現行の大綱の中に理念の部分が記載されています。その後29年の4月に細かく実行計画といわれるような教育振興計画（振興プラン）を策定しました。この中の南アルプス市

	<p>の教育の目指す姿として、南アルプス市の未来を創る人づくり～生きる力を育み、ふるさとを愛する心を培う、南アルプスの教育～が大綱の理念の人づくりとあまり乖離しないように今のご意見を参考にしながら進めてまいりたいと思っています。</p>
小野委員	<p>基本的な考え方と、これから加えたいところなどを説明していただいたので質問などは特にありません。</p>
今村委員	<p>ただ今の説明を聞き、流れはよくわかりました。国の教育振興基本計画、本市の教育振興プラン、市の総合計画、これらをたたき台として考え今回の教育大綱は時代が進む中でどのような言い回しにするのか、また付け加えていくのか考えていけばいいと思います。</p>
市長	<p>多様な力を育成するとありますが急速に求められているように感じます。2045年にはAIの力が人間を超える時代がやってくるといわれています。その中に対応するには考える力をつけることが大切だと思います。また人生100年時代というように先を見据えて長い生涯学習を生むことも考え、長いスパンで方針を取り入れたらどうかと思います。</p>
教育長	<p>大綱の作成には市長さんの意見が大切になります。教育に対する市長さんの考えを元に協議していくことが総合教育会議の役割だと思っています。</p>
市長	<p>色々な事に取り組んでいただいている事がよくわかりました。これからも、多忙化の改善に向け取り組んでいっていただきたいと思っています。</p> <p>以上で協議事項が終了します。教育委員、皆様の貴重なご意見ありがとうございました。</p>
事務局	<p>全ての協議は終了しました。続いて3「その他」ですが、何かご意見等ありますか。</p> <p>以上ですべての日程が終了しました。これで平成30年第1回南アルプス市総合教育会議を閉会といたします。ご苦労さまでした。</p>

この会議録は、会議の次第を録音機で収録し、これを再生補記するとともに、会議の開閉時刻、出席者、その他必要事項を補記して作成したものである。